



# 緩和ケア認定看護師



- 緩和ケアとは、がんなどの生命を脅かす疾患に伴う身体のだらさや心のつらさを和らげ、その人らしく生活することで生活の質の維持、向上を目指すケアです
- 緩和ケアは全人的なアプローチです。緩和ケアでは、患者さんとご家族を「身体面」「精神面」「社会面」「霊的側面（スピリチュアル）」の4つの側面からアプローチします
- 全人的苦痛（トータルペイン）とその生活の質に焦点を当てたアセスメントを的確に行い、これに基づく個別性を重視した日常生活への支援を行います

## 【緩和ケア認定看護師の使命】

- 疾患に伴う心身のだらさや社会経済的な問題を的確に把握し、緩和するための介入方法を立案、実施、評価します
- 緩和ケアに関して患者さん、ご家族、医療者からの相談に対応します
- 患者さん、ご家族を多側面からサポートしていただけるよう、多職種間の連携を図ります
- 緩和ケアの実践を通して、がん看護の質向上とチーム医療の促進、地域医療の活性化に努めます

## 【私たちはこんなことをやっています！】

- 身心のだらさの緩和
- 社会経済的な問題への対応
- ご家族のケア
- 霊的苦痛（スピリチュアルペイン）の対応
- 意思決定支援
- 看取りケア
- 医療者のサポート、教育
- チーム医療の促進
- 地域医療への参画

など

宇佐美 優子（2006年取得） 所属：血液腫瘍内科外来/外来化学療法室

病気や症状に苦しみ、毎日のように泣いている患者さんの姿を見て、何もしてあげることができない自分の無力さを痛感し、緩和ケア認定看護師を目指しました。患者さんの様々なつらい症状や不安、また、それを身近で支えているご家族のつらい思いなど、苦痛緩和とその人らしい日常生活のサポート・改善に取り組んでいます

長島 聖子（2008年取得） 所属：緩和ケアチーム/緩和ケア科外来

病気や治療に伴うつらい症状で悩む患者さんと一緒に過ごす中で、「このつらさを和らげてあげたい！」という気持ちを強く持ち、緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。現在は緩和ケアチームに所属し、院内の主にかんの患者さんのつらい症状の緩和と生活の質の維持、改善に取り組んでいます。

畠山 真由美（2019年取得） 所属：9A病棟（呼吸器内科・呼吸器外科）

病棟経験や退院調整・在宅支援の経験から「がんと共存しながらその人らしく生ききる。」とはどういうことなのか？と考えるようになり緩和ケア認定看護師を目指しました。

がんと診断されてからも「その人らしく生きること」を患者さんやご家族と一緒に考えていきたいと思っています。

#### 【現在の取り組みと今後の課題】

緩和ケアチームの一員として、患者さんが入院中も、外来通院中も緩和ケアを受けることができ、つらい症状なく過ごせるように努めています。また、療養される患者さんにご家族が安心して過ごせるよう、患者さんとの日々の関わりを大切にしています。

「緩和ケア」＝「最期のケア」という認識は患者さんや医療者の中にもまだ根強く残っています。緩和ケアはつらい症状を和らげ、生活の質を維持、改善するためのケアであることを、根気強く伝えていくことも、私たちの大事な使命であると考えています。「おぼえてください、緩和ケア。あなたの大切な方のために、あなた自身のために」